

心豊かな世代が育つ

童話の里づくり 405

―シリーズ― あなたの人権・わたしの人権

「おおかみの気もち、
うさぎの気もち」

北山田小学校1年

佐々木 心寧

わたしは、どうとくの時間に「はし
のうえのおおかみ」のお話を学習しま
した。

おおかみのはしの上において、はんた
いがわからきたうさぎやほかのどうぶ
つをとうせんぼして、おいかえしてし
まうというお話です。

わたしは、おおかみがうさぎやみん
なをきずつけていてわるいな、えらそ
うにしているなと思いました。

うさぎは、おおかみがこわかっただ
ろうと思いました。

わたしもおなじようなことがあった
ので、うさぎの気もちがよくわかりま
す。

おおかみには、ずるいところがある

ので、やさしいおおかみだといいなと、
うさぎも思っているのかなと考えまし
た。

おおかみがまたはしの上にいると、
こんどはくまさんがきました。おおか
みは、もちろんこわいので、くまさん
に、

「先にどうぞ。」

といいました。しかし、そのくまさん
は、おおかみと大ちがいでした。くま
さんは、

「こうすればいいんだよ。」

といって、おおかみをひよいともち上
げて、はんたいがわにおろしてあげま
した。

わたしもくまさんがちよつとこわい
かなと思っていたけれど、やさしかっ
たのでうれしい気もちになりました。

おおかみは、その日からくまさんに
してもらったことをうさぎやほかのど
うぶつたちにもしてあげるようになり

ました。

くまさんがしてくれたように、みん
なにしておいたらよかったんだと気づ
くことができました。

わたしは、このお話の中で、じぶん
はうさぎにしていると思いました。

お友だちにじぶんが思ったことをい
えないことがあるからです。

こどもえんところは、いえないまま
でした。でも、お友だちやおうちの人
と話をして、どうしたらいいのかを考
えました。

お母さんが

「じぶんの思いをきちつと伝えたほう
がいいよ。」

といっていました。

わたしは、ずつといえないまま、
けんかしたままよりもいいなと思いま
した。

そして、お友だちにじぶんが思った
ことをいうのは、ちよつとだけこわい
けれど、いってみようという気もちに
なりました。

お友だちとあそんでいるなかで、お
おかみみたいに、

「じぶんもこうすればよかったな。」

と思うことがときどきあります。

そういうときは、じぶんからやって
みよう、いってみようと思います。

そして、お友だちとなかよくあそび
たいです。

ものごとの解決のためには、「思
いやり」や「やさし」や「こ
とがまず頭に浮かびますが、心寧
さんは、それだけではなく、「自分
の思いをきちんと伝える」というこ
との大切さにも気付いていて感心さ
せられました。

この人権作文について、意見や感想、
激励など、お寄せください。

また、みなさんの投稿もお待ちしております。
ます。

わたしたちをとりまく様々な不合理や
差別性について気づいたことや感じたこ
とを、一、二〇〇字程度にまとめて、住所、
氏名、連絡先電話番号を記
入して（匿名も可）、玖珠町
教育委員会社会教育課「あ
なたの人権・わたしの人権」
までお届けください。

